

平成28年度(2016年度)

管理事業名	総合的自転車対策事業			総合計画の体系	第6章 安全で魅力的なまちづくり 第2節 暮らしや都市活動を支える基盤づくり
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 8	土木費	(項) 5	都市計画費 (目) 6 自転車駐車場費
部局名	土木部	予算執行所属	総務交通室		
予算大事業名 総合的自転車対策事業	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名 (款)土木費(項)道路橋梁費(目)交通対策費 総合的自転車対策事業(交通対策費) (款)土木費(項)都市計画費(目)公共駐車場整備費 千里山駅前自転車駐車場整備事業(公共駐車場整備費) ほか				
事業の目的と概要					
<p>駅周辺の放置自転車等(原付、自動二輪を含む)ゼロを目的に、駅周辺の自転車放置禁止区域内で放置防止の啓発・指導及び放置自転車等の移送(撤去)を実施します。あわせて、駅周辺で自転車駐車場の運営を行います。</p> <p>移送自転車等は、「放置自転車等管理システム」により適切な保管・返還・処分を行います。同システムの活用により、自転車コールセンターでの返還の案内、問い合わせ対応を行います。</p> <p>また、放置自転車対策として、レンタサイクル事業を行います。</p>					

Ⅰ 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	成果指標の定義
放置自転車等の台数	台	10,661	12,656	8,816	1年間に市内放置禁止区域から移送した放置自転車等の台数
自転車駐車場の利用状況	%	81.5	83.5	84.2	収容可能台数に対する利用台数の割合
成果の説明	自転車駐車場の利用が促進されており、それに伴い放置自転車の台数も前年度より3割以上減少しております。				

Ⅱ 財務情報

◆行政コスト計算書 (単位:千円)

勘定科目	平成26年度	平成27年度 A	平成28年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	415,661	415,188	414,336	△852
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	1,713	1,673	1,490	△183
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	26,536	34,224	28,556	△5,668
経常収入 小計(a)	443,909	451,085	444,381	△6,704
給与関係費	42,445	38,796	40,277	1,481
物件費	499,022	517,297	543,663	26,365
維持補修費	5,684	7,981	11,640	3,659
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	107	296	258	△38
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	184,144	184,264	184,383	119
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	1,998	2,126	2,472	346
退職手当引当金繰入額	△3,347	2,574	4,933	2,359
支払利息	13,735	12,923	12,081	△842
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	743,789	766,257	799,706	33,449
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△299,881	△315,172	△355,325	△40,153
特別収入	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	0	0
特別費用 小計(e)	-	-	0	0
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	△0	△0
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△299,881	△315,172	△355,325	△40,153
一般財源充当額	181,004	188,011	276,861	88,850
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△118,876	△127,161	△78,464	48,697

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
その他経常収入	自転車等移送保管料等 9,245千円の減 余剰電気売却代等 40千円の増 電話加入権過年度遡及登録に伴う過年度損益修正益 3,431千円の増
物件費	自転車駐車場の維持及び管理にかかる費用 5,386千円の増 自転車等保管所を管理する費用11,298千円の増
維持補修費	自転車駐車場の維持及び管理にかかる費用561千円の増 自転車等保管所を管理する費用2,094千円の増

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成26年度	平成27年度 A	平成28年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	443,909	451,085	440,950	△10,135
行政サービス活動支出	565,675	582,119	612,617	30,499
行政サービス活動収支差額	△121,766	△131,033	△171,667	△40,634
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	2,149	2,138	39,744	37,606
投資活動収支差額	△2,149	△2,138	△39,744	△37,606
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	57,089	54,839	65,450	10,611
財務活動収支差額	△57,089	△54,839	△65,450	△10,611
収支差額 合計	△181,004	△188,011	△276,861	△88,850
一般財源充当額	181,004	188,011	276,861	88,850
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	特徴的な事項
(財務活動支出)駐車場建設債43,635千円、PF事業で取得した公有財産千里ニュータウンプラザ(自転車駐車場分)に係る債務19,236千円、リース資産(放置自転車等管理システム)に係る債務2,578千円 ほか	

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
駐車スペース1台あたりのコスト	平成26年度	19,369 台	30,676 円	「経常費用小計(b)」のうち、(目)自転車駐車場費は494,117,105円で、自転車駐車場駐車スペース1台あたり、年間22,525円のコストが生じています。
	平成27年度	19,369 台	22,525 円	
	平成28年度	19,369 台	25,511 円	
自転車移送1台あたりのコスト	平成26年度	10,661 台	14,035 円	「経常費用小計(b)」のうち、(目)交通対策費は132,783,414円で、移送1台あたり、15,062円のコストが生じています。
	平成27年度	12,656 台	15,133 円	
	平成28年度	8,816 台	15,062 円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成27年度末 A	平成28年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成27年度末 A	平成28年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	67,576	68,454	878
流動未収金	-	-	-	地方債	43,635	44,168	533
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	2,126	2,472	346
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	2,578	2,578	-
有形固定資産	4,743,785	4,559,402	△184,383	その他流動負債	19,236	19,236	-
土地	1,493,407	1,493,407	-	固定負債	773,728	710,106	△63,622
建物・工作物	3,244,577	3,062,773	△181,805	地方債	456,948	412,779	△44,168
リース資産	5,800	3,222	△2,578	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	25,013	27,373	2,360
無形固定資産	-	3,431	3,431	リース債務	3,222	644	△2,578
有形固定資産	-	-	-	その他固定負債	288,545	269,309	△19,236
土地	-	-	-	負債の部合計	841,304	778,560	△62,744
建物・工作物	-	-	-	純資産	3,902,481	3,824,017	△78,464
建設仮勘定	-	-	-	重要物品	0	39,744	39,744
重要物品	0	39,744	39,744	図書館資料	-	-	-
図書館資料	-	-	-	投資その他の資産	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	出資金	-	-	-
出資金	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	基金	-	-	-
基金	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	その他債権	-	-	-
その他債権	-	-	-	資産の部合計	4,743,785	4,602,578	△141,207
資産の部合計	4,743,785	4,602,578	△141,207	負債及び純資産の部合計	4,743,785	4,602,578	△141,207

Ⅲ 財務構造分析

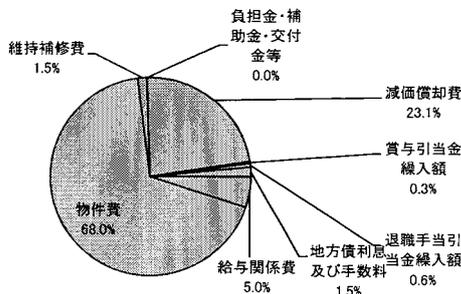
▽人にかかるコストの内訳

	常勤・再任用 月平均	非常勤 月平均	臨時雇用員 年間従事延日数	審議会委員等 実人数	合計(千円)
事業従事人数	3.92人	2人	396日		47,682
給与関係費等	37,198千円	6,670千円	3,814千円		
内、時間外勤務手当	1,877千円				

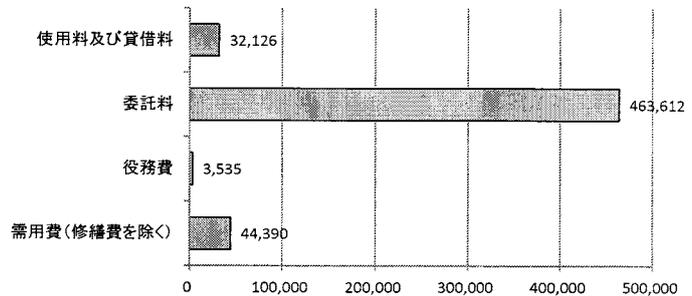
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
建物・工作物	自転車駐車場等減価償却による181,805円の減
無形固定資産	電話加入権3,431千円の増
重要物品	電算関係備品購入による39,744千円の増
地方債	建設債の償還額43,635千円の減
その他固定負債	千里ニュータウンプラザPFI債務19,236千円の減

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	JR吹田駅前西自転車駐車場ほか
取得年月日	【供用開始日】昭和55年(1980年)4月21日ほか
建物・工作物の取得価額	5,965,116千円
建物・工作物の減価償却累計額	2,902,344千円
利用料金収入	414,336千円

▽分析指標

分析指標	年度	平成28年度末			差 B-A
		平成26年度	平成27年度 A	平成28年度 B	
施設維持補修費比率		0.1	0.1	0.2	0.1
施設老朽化比率		42.6	45.6	48.7	3.1
受益者負担比率		55.9	54.2	51.8	△2.4
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		29.0	29.4	38.6	9.2
経常費用対公共資産比率		12.5	12.8	13.4	0.6

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は53.9%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

施設老朽化比率が48.7%と、昨年度と比べ、3.1%老朽化が進んでいます。経常経費の68.0%を物件費が占めており、その大半は施設管理及び運営のための委託料です。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

自転車駐車場は、昭和55年(1980年)に供用開始したJR吹田駅前西自転車駐車場が36年、市内30か所ある自転車駐車場のうちほとんどの自転車駐車場は建設後10年以上経過しています。施設全体の施設老朽化率は48.7%と市保有施設全体と比べると下回っていますが、個々の状況を見ると著しい劣化により自転車駐車場の利用者への快適性・安全性の提供が不完全になっている施設も見られます。経過年数の増加に伴い、付属設備の老朽化も進んでおり、設備の更新及び施設の維持に関する費用がこれまで以上に必要となります。また、電動自転車の普及による自転車の大型化・重量化により、既存の駐輪ラック等の設備では対応できないケースが多くなっており、更新が必要となります。設備の更新及び施設の維持に関しては計画的に進めていく必要があると考えています。老朽化した施設にどれだけのコストをかけて延命を図るのかなど、関係部とも協議していく必要があると考えております。